

公立大学法人大阪の第1期中期目標の変更案にかかる質問事項等

資料1-6

番号	分類	事項	内容	回答
■ 前文及び「1 大阪公立大学に関する目標」に係る質問事項等				
1	質問	地方独立行政法人法 第69条	「教育研究の特性」の「特性」とは具体的に何を想定しているのでしょうか。	<p>教育研究の特性については、国において以下の通り示されています。</p> <p><第156回国会 参議院 総務委員会 第19号 平成15年7月1日> 「教育研究の特性とは、大学における教育研究の自主性、自律性を十分尊重するとともに、長期的な展望に立った教育研究の推進という観点や専門的見地を踏まえること」</p>
2	質問	前文等	前文「都市問題の解決」と本文中の「地域課題の解決」は使い分けておられるのでしょうか。	<p>「地域課題」は社会貢献機能として公立大学に一般に期待される地域課題解決機能を意図しており、一定の地域圏における課題であると考えております。</p> <p>都市課題は大阪のように人口が集中する都市圏に関わる課題を意図しており、新大学が掲げる都市シンクタンク機能がこうした都市の課題解決に貢献する機能であることから、都市課題としております。</p> <p>なお、前文、「都市問題」の文言については、新大学基本構想等の記載と合せまして、「都市課題」と記載を改めました。</p>
3	質問	1 大阪公立大学の教育研究に関する目標	項目（3）「社会貢献に関する目標」と（4）「大阪の発展に貢献する2つの新機能に関する目標」があるにも関わらず、「教育研究等」としない理由は何でしょうか？	<p>項目名について、以下に改めました。</p> <p>第2 教育研究等の質の向上に関する目標 1 大阪公立大学に関する目標 2 高専に関する目標 3 大阪府立大学及び大阪市立大学に関する目標</p>
4	意見	1（1）教育に関する目標	ディプロマポリシー（DP）、カリキュラムポリシー（CP）、アドミッションポリシーなど、3つのポリシーに基づくことについて記載しなくていいのか。	<p>ご意見を踏まえ、「教育の質保証」の目標中に、「ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー及びアドミッションポリシーに基づいた教育の自己点検・評価を中心とする教育の内部質保証システムを構築するとともに…」と3ポリシーに基づくことについての記載を付記しました。</p>

公立大学法人大阪の第1期中期目標の変更案にかかる質問事項等

資料1-6

番号	分類	事項	内容	回答
5	質問	1 (1) 教育に関する目標 ア 人材育成方針及び教育 内容	「地域社会から国際社会まで幅広く活躍できる人材」や 「産業界等と連携した教育」については、すべての学生を 対象としているのでしょうか。	「地域社会から国際社会まで幅広く活躍できる人材」 については、学士課程の学生に対する教育の充実を図 り、その取り組みを通じて、地域社会で活躍できる人材 や国際社会で活躍できる人材を育成することとしており ます。 「産業界等と連携した教育」については、必ずしも全 学生がこうした教育を受けるとは限らないとは思いますが、大学院教育において、産業界等と連携した教育を行 い、実践力を備えた職業人や研究者を育成することとし ております。
6	意見	1 (1) 教育に関する目標 ア 人材育成方針及び教育 内容	学士課程に関する目標レベルが十分に高い一方で、本来 自ら学び 自発的に研究する能力を養うはずの大学院教育が 「理論及び応用を『教授』」することを目標としており、 両者の目標水準が逆転している印象を受けます。 それぞれが目指す目標水準を差異化する必要があると考 えます。	大学院教育については、「専門分野における学術の理 論及び応用を教授する」ことで、学士課程で得た知識を 発展・応用させることについて記載しています。 なお、教授については研究指導等の意味も含んでいま す。
7	質問	1 (1) 教育に関する目標 イ 教育の質保証	「学修成果」の記載において、「学修」で良いか。他は 「学習」であるので、この点だけ「学修」というのが適切 かどうか確認頂きたい。	3ポリシーに基づく旨を記載することと併せて、目標 文章を下記のとおり改めました。 「ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー及びアド ミッションポリシーに基づいた教育の自己点検・評価を 中心とする教育の内部質保証システムを構築するととも に、全学的なFD(ファカルティ・ディベロップメント)、 SD(スタッフ・ディベロップメント)に取り組むことによ り、教育力の一層の向上を図り、質の高い教育活動を維 持する。」
8	意見	1 (1) 教育に関する目標 イ 教育の質保証	文章として、前段に手段である内部質保証システムの構 築部分を長く記載し、後段で目的を記載している。 手段自体が目的化しているように見える。目的を前に 持って来るなど分かりやすくできるのではないか。	教育の質を保証するためには、教育の内部質保証シス テムを構築すること自体も重要であると考えておりま す。 また、教育の内部質保証システムを構築や全学的な FD・SDに取り組むことにより、「教育力の一層の向上を 図り、質の高い教育活動を維持する」ことを目的として おります。

公立大学法人大阪の第1期中期目標の変更案にかかる質問事項等

資料1-6

番号	分類	事項	内容	回答
9	意見	1 (1) 教育に関する目標 イ 教育の質保証	他大学との間でオンライン教育の連携を進めていただきたいと思ひます。 コロナ禍の中でオンライン授業が急速に伸展・普及したことを受けて、今後、複数の大学間でオンラインを活用した科目の相互提供が進展することが予想されます。 大阪公立大学の教員が提供する高品質の授業を全国の大学に広める機会であると同時に、学生にとっても他大学の学生との刺激に満ちた学びを体験でき、教育の質の向上に資するところ大と考えます。	他大学との間でのオンライン教育の連携については、学士課程における教育の充実において、法人・大学が中期計画に基づき、取組を進めることとしております。 また、国際力の強化に向けての取組みといたしましても、オンラインでの海外大学との共同授業等を進めることとしております。
10	質問	1 (1) 教育に関する目標 イ 教育の質保証	「教育の内部質保証システムを構築する」とありますが、どのような方針で進められるのでしょうか。	組織的FDの推進・支援や教学を中心としたIR活動（※）を行う組織の設置や教育に関する各種調査等によって、教育の内部質保証システムを構築することとしています。 ※入学から卒業・修了までの修学状況や学修成果の調査・分析、自己点検・評価、内部質保証システムの構築・支援など
11	意見	1 (1) 教育に関する目標 イ 教育の質保証	STEM教育の一層の充実・推進を中期目標に謳っていただきたいと思ひます。 イノベーションの多くが学際領域で起こっていることに鑑みれば、学部、特に理系の学部教育においては今後、それぞれの学域や学部、学科の専門科目との直接の関連がなくとも、学生一人ひとりがSTEMの可能な限りの広い領域にわたって一定水準以上の知識を漏らすことなく習得していることが求められるようになると予想されます。（具体的には、全員が数学と統計学の全科目を履修する、あるいは工学部の機械系や電気系の学生でも生命科学の基礎知識を体系的に習得している等々） 現行の基幹教育共通科目および専門教育基礎科目を対象に、類似科目間の内容を標準化することで、教育の質の向上に大いに資すると思ひます。 学域・学部間で内容が重複する科目の統合が進むと、教員が研究に割くことのできる時間を増やせるという副次効果も期待できます。	・新大学において、STEM教育と位置付けているわけではありませんが、新大学の基幹教育において、理系分野のそれぞれの学問領域から基幹教育で提供することが相応しい科目を、基礎教育科目として提供する予定としております。 ・例えば、数学、物理学、科学、生物学、地学の基礎教育や、総合教養科目における「数理・データサイエンス基礎科目」などが挙げられます。

公立大学法人大阪の第1期中期目標の変更案にかかる質問事項等

資料1-6

番号	分類	事項	内容	回答
12	質問	1 (1) 教育に関する目標 エ 入学者選抜	<p>キャンパス整備計画が完了するまでは同じ学部が杉本町と中百舌鳥に分散することになると思われる。</p> <p>中期目標とは直接関係することではないが、新大学の学生の各キャンパスへの配置は入学選抜の段階で決まるのか、あるいは入学後に決まるとするとどのような方法で制御するのかについて教えていただきたい。</p>	<p>入試選抜段階で、入学する学科等に応じて通学するキャンパスが予定されています。</p>
13	意見	1 (1) 教育に関する目標 エ 入学者選抜	<p>「入学者選抜」という項目に広報活動が入るのは違和感。別に入れるか項目名に「広報活動」を入れる方がよいのではないか。</p>	<p>当該広報活動等の取り組みについては、一般的な大学等の広報活動ではなく、入学者選抜に係る広報活動（入試広報）を意味しております。</p> <p>こうした考えのもと、「入学者選抜」の項目において記載しております。</p>
14	質問	1 (2) 研究に関する目標 ア 研究力の強化	<p>長期的戦略はあるのか？ないのであれば、「長期的な視点に基づき」など一般的表現とした方が良いと感じる。</p>	<p>長期的戦略については、現在法人・大学におけるWG等で検討を行っているところであり、策定を予定しております。</p>
15	意見	1 (2) 研究に関する目標 ア 研究力の強化	<p>「卓越した若手…研究者等」というのは、若手に卓越したという言葉は馴染まないのではないか。若手を入れるのであれば「将来性のある」といった表現がいいのではないか。</p>	<p>文部科学省が実施する「卓越研究員事業」では、優秀な若手研究者を「卓越研究員」として支援がなされているように、若手研究者の中には、卓越した研究者がいると考えることから、現在の表現にしております。</p>
16	質問	1 (2) 研究に関する目標 ア 研究力の強化	<p>新大学の基本構想に具体的な内容が挙げられている4つの戦略領域に言及する必要はないか。</p>	<p>4つの戦略領域については、前文において、新大学基本構想で示された方向性として触れ、新大学はこの構想に基づき、取り組みを進めることについて記載をいたしました。</p> <p>また、2) 研究に関する目標の「イ 研究推進・支援体制の整備」において、“大学の強みや特色となる研究領域等への重点的投資により、グローバル研究拠点の形成に取組み、大学の研究力の一層の高度化と国際的プレゼンス向上を目指す”ことを目標に含めており、4つの戦略領域への重点取組みについては、当該目標にも含まれると考えております。</p>

公立大学法人大阪の第1期中期目標の変更案にかかる質問事項等

資料1-6

番号	分類	事項	内容	回答
17	意見	1 (2) 研究に関する目標 イ 研究力推進・支援体制の整備	「研究者の自由な発想に基づく…」について、従前の新大学の目標でも使用されているが、現行の新大学の目標においては「自由な発想に基づくテーマ型研究に加え」とテーマ型研究に係っていた。 今回は全体の研究に係るように見え、この場合において「自由な発想に基づく」と言ってしまうが良いのか留意が必要である。例えば、独創的や創造的な発想に基づく、などの方が良いのではないか。	ご意見を踏まえ、「自由な発想に基づく」を「創造的な発想に基づく」に修正いたしました。
18	意見	1 (2) 研究に関する目標 イ 研究力推進・支援体制の整備	「自由な発想に基づく高度な学術研究」は必ずしも研究推進・支援体制の整備によって機動的な推進を図るべき対象ではない場合もあると思います。 世界的なプレゼンスを持つ 高度研究型大学を目指す限り、研究者本人の独自の発想に基づく研究については一定の期間、たとえ目立った成果が出ずとも温かく見守り、適切なタイミングでそっと背中を押してやるというスタンスを採るといった考え方が必要と考えます。	「自由な発想に基づく高度な学術研究」については、「創造的な発想に基づく」に修正いたしました。 また、「機動的に推進できる研究推進・支援体制」については、長期的な研究を長期的な視野で支援することも含めた研究推進・支援体制の整備を行うことを考えております。
19	意見	1 (2) 研究に関する目標 イ 研究力推進・支援体制の整備	「大学を代表するグローバル研究拠点となりうる研究領域等への重点的投資により」という表現があるが、研究拠点と研究領域は同格ではないので、「大学を代表するグローバル研究拠点を形成しうる研究領域等への重点的投資により」としてはどうか。	2) 研究に関する目標の「イ 研究推進・支援体制の整備」の後段の文章については、各委員のご意見を踏まえ、次の通り整理いたしました。 「特に、大学の強みや特色となる研究領域等への重点的投資により、グローバル研究拠点の形成に取組み、大学の研究力の一層の高度化と国際的プレゼンス向上を目指す。」
20	意見	1 (2) 研究に関する目標 イ 研究力推進・支援体制の整備	「特に…」以降の文章の組み立てが気になる。「大学の強みや特色となる」がどこにかかるのかわかりづらく、「特色」の使い方に違和感を感じる。	<No.19再掲> 2) 研究に関する目標の「イ 研究推進・支援体制の整備」の後段の文章については、各委員のご意見を踏まえ、次の通り整理いたしました。 「特に、大学の強みや特色となる研究領域等への重点的投資により、グローバル研究拠点の形成に取組み、大学の研究力の一層の高度化と国際的プレゼンス向上を目指す。」

公立大学法人大阪の第1期中期目標の変更案にかかる質問事項等

資料1-6

番号	分類	事項	内容	回答
21	意見	1 (2) 研究に関する目標 イ 研究力推進・支援体制の整備	2文目の冒頭（以下のアンダーライン部）は、表現が分かりにくいので、例えば以下のような表現の方がいいのではないのでしょうか。 特に、卓越した研究力を有し、大学の強みや特色となる、大学を代表する・・・ → 特に、卓越した研究力を有し、大学を代表する・・・	<No.19再掲> 2) 研究に関する目標の「イ 研究推進・支援体制の整備」の後段の文章については、各委員のご意見を踏まえ、次の通り整理いたしました。 「特に、大学の強みや特色となる研究領域等への重点的投資により、グローバル研究拠点の形成に取組み、大学の研究力の一層の高度化と国際的プレゼンス向上を目指す。」
22	意見	1 (3) 社会貢献に関する目標	「イ 産業活性化への貢献」について、一般的な記述より、大学の特徴として、特に「地域」を強調しても良いのではないのでしょうか。	第1段落が広く産業を意味している一方で、第2段落は特に地域に関するものとして、地域の産業活性化に係る取り組みについて記載をしております。
23	意見	1 (3) 社会貢献に関する目標 ア 地域貢献 (イ) 地域で活躍する人材の育成	「地域で活躍する人材を育成」は、上述の「地域社会から国際社会まで幅広く活躍できる人材」と、表現が矛盾しないのでしょうか。	学士課程では、「地域社会から国際社会まで幅広く活躍できる人材」を育成することとしており、その中で特に地域貢献において、(イ)地域で活躍する人材の育成についてを記載しております。
24	意見	1 (3) 社会貢献に関する目標 ア 地域貢献 (ウ) 生涯学習への貢献	「人々の知的探究心を満足させるだけでなく、豊かな社会生活のために、」の「人々の知的探究心を満足させる」の文章と「豊かな社会生活のために」の文章は目的の階層が異なるので、表現を改められたい。	生涯学習に係る講座等の受講者が知識を享受することだけでなく、生涯学習で得た知識を活かして「豊かな社会生活」を享受できるようになることを意図し、当該文章を記載しております。
25	意見	1 (3) 社会貢献に関する目標 (4) 大阪の発展に貢献する2つの新機能に関する目標	(3) 「社会貢献に関する目標」の「地域」と「社会」のそれぞれが意味するところが不明確です。(3) 「社会貢献に関する目標」と(4) 「大阪の発展に貢献する2つの新機能に関する目標」と一本化し、アとイに続いて、(3)の内容を簡潔に記述することによって、(4)が新大学の目玉であることを一層効果的にアピールできると思います。	新大学基本構想においては、「教育」「研究」「社会貢献」の3つの基本機能のさらなる強化に加え、大阪の都市課題の解決や産業競争力の強化に貢献するため「都市シンクタンク」と「技術インキュベーション」の2つの新たな機能を充実・強化することとしております。 この新大学基本構想に基づき、今回の中期目標においても、社会貢献とは別に2つの新機能に関する目標を独立して定めることを方針としております。

公立大学法人大阪の第1期中期目標の変更案にかかる質問事項等

資料1-6

番号	分類	事項	内容	回答
26	質問	1 (4) 大阪の発展に貢献する2つの新機能に関する目標 ア 都市シンクタンク機能	具体的にどのように体制整備や組織づくりを進められるのでしょうか。	法人において、都市シンクタンク機能の体制整備に向けて、組織及び業務の検討を進めていくことしております。
27	意見	1 (4) 大阪の発展に貢献する2つの新機能に関する目標 ア 都市シンクタンク機能	<p>文章に違和感がある。</p> <p>①「パブリックデータ分析や産学官ネットワーク形成に優位な公立大学の特性」は、「大阪府、大阪市等と密接に連携」に主に対応し、「総合大学としての強み」は「異分野融合による先端研究」に主に対応すると思われるが、それなら、「大阪府、大阪市等と密接に連携」と「異分野融合による先端研究」を記述する順番を入れ替える必要がある。</p> <p>②「異分野融合による先端研究等を推進することにより」とあるが、この書き方では「異分野融合による先端研究」によって「大阪府、大阪市等と密接に連携」と読むになってしまう。</p> <p>③「産学官ネットワーク形成に優位な公立大学の特性」という表現にも違和感がある。</p> <p>①②③を踏まえると、ここは「総合大学としての強み及びパブリックデータ分析や産学官ネットワーク形成において優位性を持つ公立大学の特性を活かし、異分野融合による先端研究等の推進と大阪府、大阪市等との密接な連携に基づいた都市課題解決に貢献する。」となるのではないか？</p>	<p>ご意見を踏まえて、次のとおり修正しました。</p> <p><中期目標変更案> パブリックデータ分析や産学官ネットワーク形成に優位性を持つ公立大学の特性及び総合大学としての強みを活かし、大阪府、大阪市等と密接に連携を図りながら、異分野融合による先端研究等を推進することにより、都市課題解決に貢献する。</p>
28	質問	1 (4) 大阪の発展に貢献する2つの新機能に関する目標 イ 技術インキュベーション機能	具体的にどのように体制整備や組織づくりを進められるのでしょうか。	法人において、技術インキュベーション機能の体制整備に向けて、組織及び業務の検討を進めていくことしております。

公立大学法人大阪の第1期中期目標の変更案にかかる質問事項等

資料1-6

番号	分類	事項	内容	回答
29	意見	1(4)大阪の発展に貢献する2つの新機能に関する目標 イ 技術インキュベーション機能	獣医学での技術インキュベーションの展開は想定されているか?想定されていないのであれば、獣医学を例示として示さなくても良いのではないかと。	新大学基本構想(P.16)においては、技術インキュベーションの展開として、獣医学と医学との連携による人獣共通感染症の画期的診断治療法・予防法開発や診断治療法・治療薬の研究などの取組事例が示されておりますので、獣医学も例示として記載をしております。
30	意見	1(4)大阪の発展に貢献する2つの新機能に関する目標 イ 技術インキュベーション機能	「大阪をはじめとする産業の競争力強化」は言葉足らずなので「大阪をはじめとする地域の産業の競争力強化」としてはどうか。	ご意見を踏まえ、文章について再検討いたします。
31	質問	1(5)国際力の強化に関する目標	グローバル化は新大学の目標の5つの柱の一つである。「海外の研究者・大学等との学術交流や国際共同研究を推進する」ことは国内外における大学の評価の向上に必須の課題である。具体的にどのような方策が検討されているのかをお聞かせいただきたい。	法人内の研究WGにおいて長期的戦略に関して検討するなかで、国際化に関する戦略についても検討しているところです。
32	質問	1(5)国際力の強化に関する目標	同じくグローバル化に関して、「更に、優秀な留学生の受入れ、、、、」とあるが、住環境を整え奨学金を用意しないと優秀な留学生は獲得できない。キャンパス計画や奨学制度に留学生獲得のための思い切った積極策が求められるが、その計画についてお聞かせいただきたい。	奨学金をはじめ、外国人留学生の心の相談体制整備、事務の語学力向上等の取組など、考えられる施策について、法人・大学において検討しているところです。
33	意見	1(5)国際力の強化に関する目標	「グローバル化された社会で活躍できる人材を育成」も、上述の「地域社会から国際社会まで幅広く活躍できる人材」と、表現が矛盾しないでしょうか。	学士課程では、「地域社会から国際社会まで幅広く活躍できる人材」を育成することとしており、その中で「国際力の強化に関する目標」においては、特にグローバル化された社会で活躍できる人材の育成を目標に掲げ、当該目標の達成を図ることとしております。

公立大学法人大阪の第1期中期目標の変更案にかかる質問事項等

資料1-6

番号	分類	事項	内容	回答
■ 「2 高専に関する目標」に係る質問事項等				
34	質問	2 高専に関する目標	時代に即した思い切った高専改革は評価できるが、新カリキュラムと在学生の科目を担保するためにいかに教員を確保するのか、お教えいただきたい。	基本的には、現状、新しいカリキュラムの提供に対応できる教員がおりますが、産業界等とも連携しながら、新カリキュラムに対応していくこととしております。 また、今後の教員採用においては、退職等に伴う教員の新規採用の際に、新たなコースに対応した教員を採用していく予定としております。
35	質問	2 高専に関する目標	専攻科を廃止し教育研究機関から純粋な教育機関へと移行するということは、5年間教育で完結する人材育成に力を注ぎ、むしろ本来の高専の姿に戻るように思われる。 それは、これまで評価されてきた印象のある大学への編入には消極的になると考えてよいか。	・高専から大学の編入学については、消極的になるという考え方ではなく、今後、新大学への編入学枠を拡大することとしております。 ・専攻科については、2024年度の入学生を最後に募集停止となりますが、新大学等への編入学によって、より充実した環境の下で高度な研究を目指す学生を支援することとしております。
36	意見	2 高専に関する目標	研究に関する目標が削除されていますが、高専教員の研究を支援しないということでしょうか。 高専こそ地域産業と強く結びつくことから、人材供給だけでなく、実践的な技術開発で地域産業に貢献できるのではないのでしょうか。	学校教育法上、高専の主な目的が「教育」と「教育成果の社会への提供」であることから、研究に関する目標を削除していますが、法人・高専において、教育の質の向上のために、高専教員の研究を支援することとしています。 また、社会貢献等に関する目標において、現行の目標において記載がある、「ア 研究成果の発信と社会への還元」に関する目標を引き続き記載することといたしました。

公立大学法人大阪の第1期中期目標の変更案にかかる質問事項等

資料1-6

番号	分類	事項	内容	回答
37	質問	2 高専に関する目標 (1) 教育に関する目標	<p>(1)ア 高専改革の内容を反映され、「Society5.0に対応した」等の文言に変更されることには賛成です。 DXを推進できるIT人材の育成は大阪だけの問題ではなく、緊急度も高いと思いますが、以下についてどのように考えておられるか教えてください。</p> <p>①前文や公立大学大阪の箇所では、DXやSociety5.0のような文言がありませんが、高大連携や社会・学生のニーズからDXやAIが研究できる大学と明示されないのでしょうか。（研究力の強化に含まれていると理解すればよいのでしょうか。）</p> <p>②(2)当該人材育成方針及び教育内容で教育の質保証をするためには、優秀な教員の確保が必須だと思います。こちらには課題はないとの理解でよろしいのでしょうか。</p>	<p>①前文において、新大学基本構想で示された方向性である、「スマートシティ」や「データマネジメント」などの4つの戦略領域に重点的に取り組むことについて、記載を追記いたしました。</p> <p>②基本的には、現状、新しいカリキュラムの提供に対応できる教員がおりますが、産業界等とも連携しながら、新カリキュラムに対応していくこととしております。 また、今後の教員採用においては、退職等に伴う教員の新規採用の際に、新たなコースに対応した教員を採用していく予定としております。</p>
38	意見	2 高専に関する目標 (1) 教育に関する目標	<p>「グローバル人材の育成」の項目は、「ア 人材育成方針及び教育内容」の続きに書いた方がいいのではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、(1)教育に関する目標に「グローバル人材の育成」を位置付けました。</p>
39	質問	2 高専に関する目標 (1) 教育に関する目標	<p>「リーダー的資質を備えた実践的技術者」の「リーダー的資質」については、教育だけでなく、入学者選抜にも影響するのでしょうか。</p>	<p>「リーダー的資質を備えた実践的技術者」については、高専の教育を通じて、育成していく人材像であると考えております。 高専のアドミッションポリシーにおいては、「何事にも積極的に取り組めるチャレンジ精神の旺盛な人」、「いろいろな人と協力して行動できる人」などを示しており、アドミッションポリシーに基づき入学者選抜を行っております。</p>
40	質問	2 高専に関する目標 (1)ウ 学生支援の充実等	<p>「中百舌鳥キャンパス移転に向けて」：移転時期は？ 移転までの期間、離れている大阪公立大学と、具体的にどのような連携ができるのか？</p>	<p>①移転時期については、2026年度以降を予定しております。</p> <p>②移転までの期間大阪公立大学との連携については、これまでも府大と連携して行っている、大学教員による高専生への特別講義や、大学の研究室見学会、大学の卒業研究への参加、大学に留学している留学生と高専生との交流等の連携が想定されます。</p>

公立大学法人大阪の第1期中期目標の変更案にかかる質問事項等

資料1-6

番号	分類	事項	内容	回答
41	意見	2 高専に関する目標 (1) エ 入学者選抜	「府内外から学生募集を行うなど」の「など」が必要か確認してほしい。「など」をいれることにより、後に続く文章「アドミッション・・多様な入試」の一例の読めてしまう。	一定数の府外生を学力選抜によって募集することは、入学者選抜の取組みの一つとしてありますので、今回の文章としております。
42	意見	2 高専に関する目標 (2) 社会貢献に関する目標	主に教育の視点から社会貢献の目標について記述されていますが、産学連携にもより配慮すべきではないでしょうか。 例えば、地方独立行政法人大阪産業技術研究所（森之宮、和泉）を通じての産学連携は高専の教育・社会貢献の両面において効果大きいと思います。	ご意見を踏まえ、社会貢献等に関する目標において、現行の目標において記載がある、「ア 研究成果の発信と社会への還元」に関する目標を引き続き記載することといたしました。
43	意見	2 高専に関する目標 (2) 社会貢献に関する目標	2段落目と3段落目は、国際的な教育・実践的な教育に関する事項のようにも読めます。 「教育成果の社会への提供」という意図であれば、改正前のように項目建てした方がわかりやすくないでしょうか。	ご意見を踏まえ、改正前のおり、(1) 教育に関する目標に「グローバル人材の育成」を位置付けました。

公立大学法人大阪の第1期中期目標の変更案にかかる質問事項等

資料1-6

番号	分類	事項	内容	回答
■ 第3以降（法人運営等）に係る質問事項等				
44	意見	第6の3 法令順守等	<p>法令遵守は当たり前のことなので、「社会的責任（を果たす）」という項目の方が良いと考えます。</p> <p>大阪公立大学が、どのような、そしてどのように社会的責任を果たすのかこそ、目標として記述する意義があると思います。</p> <p>特に、「公益」の視点が重要に思います。その中で、法令遵守に触れることは問題ないでしょう。</p>	<p>大学における「社会的責任」については、法令遵守以外の幅広い概念（例えば、人材育成や研究成果の社会への還元など）を含むものとなる考えます。</p> <p>当該項目については、法令遵守等にかかる目標であることから、項目としては、「人権の尊重及び法令遵守等」としたいと考えます。</p>
45	意見	第6の5 新施設の整備に向けた取組みの推進	<p>認知症医療・介護機能を継承した新病院等の令和7年度中開設に向け準備を進めることが記載されていますが、ここでは設備整備についての記載と読めます。</p> <p>新病院等の運営を担い認知症医療等に一層注力されるのであれば、令和6年度までの当中期目標期間に医学部又は附属病院に期待する事項も記載するのはいかがでしょうか。</p>	<p>ご指摘の点については、「住吉市民病院跡地に整備する新病院等に関する基本構想」の実現を目指し大阪市と連携して準備を進めることを附属病院含む法人に期待しているため構想を引用しています。</p> <p>開設準備の内容としては、医療機器や医療情報システム等の調達をはじめとした設備整備や職員の採用などになります。</p>